

図1

「労働者タイプ別表」

		高度&専門人材	中間技能人材	非専門・非熟練分野の移動者
例		高度人材/ビジネス関係者など 外交官、多国籍大企業の管理職 国費留学生 アジア人財資金構想の留学生	技能実習生 ALTなどの語学教師 EPA等による介護、コック、スペセラピスト、旅行関係者等	日系ブラジル人、配偶者、就学生・留学生、非正規滞在者
特徴		高い市場価値を持ち、多大の教育コストが投資される	職人的熟達が必要	外国人労働者の導入に関して「低賃金」「過重労働」「非正規雇用」「社会的地位」などの業界そのものが抱えている構造的課題がある。
主な業種		IT、知財、環境、省エネ、医療、プロスポーツ等	製造業等の第二次産業に従事する技術者、翻訳、通訳、看護等	第一次産業、縫製業、地場産業、家事、ケア等
制度（例）		アジア人財資金構想、『BJT』、経済連携協定（「EPA」）/看護師	技能実習制度 経済連携協定/介護福祉士	入管法改変による日系人受入
日本語教育	教育コスト負担	必要に応じて通訳付 積極的に国や自治体、企業、大学等が投資する。または個人に高い負担能力がある	一定の/多くは短期の教育コストが投資される	制度的な学習保証はない。
	日本語教師	大学 日本語教育専門機関 プライベートレッスン	専門機関または日本語ボランティアによって実施される/されている	地域の日本語ボランティアによって実施される/されている ボランティア教室は、高学歴子育て終了女性や定年退職者で、海外滞在経験のある者によって担われることが多い
	時期&レベル	長期間で集中的、かつ高度で一貫した語学教育が実施される/されている	来日初期の、短～中期間に集中的または定期的な初中級レベルの語学教育	短期的・短時間の入門サバイバルレベルの語学教育